

# 学が育む

## 英語で志願者掘り起こし

私立中学の入試が大きく様変わりしている。新たな層の受験者を掘り起こそうと英語を取り入れたり、人気の公立中高一貫校と併願しやすい公立の入学を選抜「適性検査」に似た教科融合問題を出したり。多くの学校が入試の選択肢を増やし、受験者の確保に力を入れている。多様化する中学入試の現状を報告する。

### ■ 大学入試改革受け

「Hello! Hi, how are you?」。モニター画面に映る講師の呼びかけに、ヘッドホンを着けた生徒が笑顔で応えた。

11月22日、東京都千代田区の麹町学園女子中学校。3年の



英会話の授業で、インターネット電話を使ってフィリピンにいる講師と話す生徒たち。入試も英語重視に見直した(東京都千代田区の麹町学園女子中学校で) —安斎晃撮影

生のオンライン英会話の授業で、約20人がフィリピンにいる講師とマンツーマンの会話を楽しんでいた。島田唯さん(15)は「1対1だと話さないわけにいかないの、良い訓練になる」とほほ笑んだ。

同校は今年度、英語教育を全面的に改革。音声活動に重点を置き、月2回のオンライン英会話はその一環だ。

併せて入試も見直し、2017年からは「英語リスニング」と「英語と日本語による面接」を柱にした入試を始め。英語の授業などを中心に、英語科主任の堀美加教

諭は「面接では語学力そのものより、間違いを恐れず話す意欲、積極性を評価する」と考えた。

20年度の大学入試改革で、英語は「聞く、読む」に加え「話す、書く」を加えた4技能を評価する方式に変わる予定だ。小学5年生からの正式教科化も決まっている。

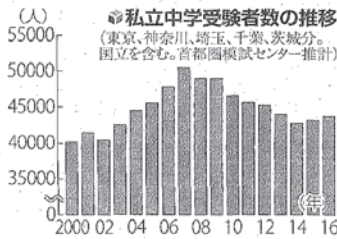
### ■ 首都圏で約80校

この流れを受け、この数年、選択科目などとして入試に英語を導入する私立中学が急増。中学入試の模擬試験などを行う首都圏模試センター(東京都)によると、難関校は行っていないところが多いものの、東京、神奈川、埼玉、千葉、茨城の1都4県約310校のうち、15年は33校、16年は64校が実施。17年は80校を越す見通しだ。

こうした中、難関の市川中(千葉県)が17年、初めて選

学校名	試験の概要
城西大付属城西(東京都)	英検3級(中学卒業)程度リスニングと筆記。日本語面接
埼玉栄(埼玉県)	150個程度の英単語を使った作文(40分)と英語面接
トキワ松学園(東京都)	英会話(英検4~5級、5~8分)で課題写真などについて質問。国語が算数
桐光学園(神奈川県)	英検3級以上の取得者を対象に、国語と算数、日本語面接を課す
女子聖学院(東京都)	リスニング(英検4級程度)、課題文暗唱、自己紹介(3分程度)、日本語面接

### ◆ 2017年に行われる私立中学校の入試の例



## 私立受験者数持ち直し

1都4県の私立中学受験者(国立を含む)は、首都圏模試センターの推計で2007年の約5万5000人をピークに減少し、14年は約4万2800人となった。同センターは「リーマン・ショック以降、学費負担を重く感じる保護者の増加に拍車がかかるとともに、英語やスポーツなど習い事に価値を見いだす親も増えた」と分析する。

ただ、入試の選択肢が増え、人気の高い公立中高一貫校と併願しやすくなったこともあり、16年には約4万3700人とやや持ち直した。

その公立中高一貫校は「ゆとりある学校生活」を主目的に1998年、学校教育法改正で設置が認められた。衆参両院委員会の付帯決議に沿って、文部省(当時)は「受験エリート校化しない」「受験競争を低年齢化させないよう入学決定で学力試験をしない」ことを都道府県教委などに要望。このため教科ごとの試験でなく、「適性検査」と称して複数教科の要素で作った問題や作文を課している。

だが現状は、質の高い進学教育への親の期待もあって受験競争が過熱。「適性検査も年々難化し、小学校の勉強だけでは太刀打ちできない(東京の塾関係者)」が実情だ。

択科目に英語を取り入れ、記述と作文の入試を行う。問題は英検2級(高校卒業)程度と高水準だが、同センターの北一成・教務情報部長は「先行する他校の例から、英語能力の高い子は他教科の成績も良いと分かっている。市川中は毎年約3000人が受験する人気校で、他校に与える影響は大きい」とみている。

### ■ 英検資格で加点

共立女子第二中(東京都)は、ネイティブ講師を相手にしたスピーキングや、イラストを見て英語で簡単な説明を書く新試験で4技能を測る。

また、早稲田摂陵中(大阪府)は、200点満点中50点分を英検などの資格や実績で評価する入試を行う。英検2級以上なら50点、4級なら30点だ。

一方、宝仙学園中理数インター(東京都)は17年、英語による自己PR入試を実施。小学校で打ち込んだ活動などについて話してもらい、「コミュニケーション能力や発表・説明能力をみる。富士晴英校長は「中学受験のために何年も塾に通う必要はない。堂々と英語で話す意欲や熱意のある子どもを選び、世界に通じるグローバルリーダーに育てたい」と話している。